

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年 3月 31日

事業所名 小さな目のクジラ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	○		テラス等で運動系の遊びをしたり活用しています。	室内も含め日当たりに良いガーデンスペースも活用しボール遊びや運動系の活動をする場として活用しています。
	2	職員の配置数は適切である	○		基準、それ以上の人員を配置しています。	保育士等の有資格者も配置し基準に準じた人員配置をしています。個別対応の利用者様にも配慮しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	階段手すりや滑り止め等を設置し安全対策を行っています。	事業所内で一部バリアフリー化されていない箇所があるため視覚的にわかりやすい配慮をし改善をおこなっていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		日々の業務をと話し振り返りや見直しを行っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者よりアンケートを収集し改善に繋げている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPで公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		保護者からアンケートで評価を行い改善に繋げています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修資料を作成し職員に周知する機会を作っている。	コロナ禍で研修の機会は控えていましたが 事業所内で研修資料を作成し職員に周知しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		相談支援員さんとも連携しながら作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		情報シート・ファイスシートを作成しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		利用者様の状況を把握しながら話し合いをして作成しています。	集団活動は領域毎に分け利用者さんが楽しめる活動提案し実践しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		活動が固定化しないように利用者さんに合った活動を提案するようにしています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		休日は野外活動やお買い物学習 社会見学等を設定しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		利用者さんの状況を把握し本人の希望も考慮し計画しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		ミーティングを行いタイムラインを作成し役割分担を行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援の振り返りや情報共有は日々行っています。	送迎の関係上、職員が揃う翌日ミーティングを行い非常勤にも議事録等で連発はしていますが今後は非常勤も含めた会議の機会を増やしていきたいと思っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		連絡帳にも記載し支援記録にも記載し翌日のミーティングで共有連携しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○		ガイドラインを念頭においた支援を心がけるよう周知しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管が参加し情報交換を行っています。状況に応じて他の職員も参加するようにしています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		支援学校との会議には必ず出席。送迎時に担任から様子を連携しその日の支援に配慮し保護者との連携も図っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	医療的ケア児の受け入れは体制が整っていない為行っていません。	医療ケアは不十分で見学お問い合わせの際には十分に説明をさせていただきお断りさせていただいています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		就学前の通園先からの様子のフェイスシート等を通して共有している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		相談支援事業所を通じて支援内容、状況等を伝えています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			コロナ禍で研修の機会は控えていましたので今後は参加する機会を増やしていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		隣接する公園で一緒にドッジボールや鬼ごっこをして交流しています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		コロナ禍等の状況もあり現在は積極的に参加できていませんが今後は検討していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳にその日の様子を詳細に記載し、送迎時にも口頭でお伝えしたりLINE等で連携しています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○				
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		ご契約の際に詳細に説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		連絡帳や送迎の際にお話したり必要な助言支援を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナ禍の状況、日時などの問題等もあり行えていません。今後は検討して参ります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情があった場合はLINEや電話等で迅速に対応するように心がけています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		日にの活動の様子をHPのブログにアップし情報を発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			定期的に地域の老人ホーム等を訪問し交流をおこなっています。現在はコロナ禍で自粛しています。今後も実施に向け検討していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		作成しています。HPIにもアップし職員保護者にも周知しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に避難訓練・災害訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修資料を通して職員の相互理解を図っています。コロナ禍の為	コロナ禍で研修会議等を目黒していましたが今後は確保していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に説明を行い拘束が必要な場合は事前に同意を得るようにしています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時にアレルギー等の確認をして対応しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			